



薬 師 堂

明治25年(1892)の再建と伝わる旧開山堂です
平成7年(1995)の被災状況は3堂中最軽微であったが、東
大壁全面が傾斜して倒壊寸前でした。

復旧後の平成13年(2001)以来、本堂脇壇にあった薬師三
尊を中央に、脇壇に大日如来と大師像を祀り、薬師堂と称していま
す。

平成15年5月 加古川市文化財保護協会









総門

18世紀後半の建築と推定されていた総門は老朽化が激しく、震災復興に臨んで新建していますが、作物・中備え・妻等すべて旧総門と変わらず造られた四脚門です。腰長押を新たに取付けています。平成14年(2002)に完工しました。

平成15年5月 加古川市文化財保護協会













ひと・川・コミュニケーション

わがまち
加古川 MY TOWN
AND KAKO
GAWA
60選

ご しゃ のみや

五社宮野口神社

旧西国街道にある神社の主神は日吉大神（ひえのおおかみ）で、比叡山延暦寺の守護神日吉大社から分霊をお迎えし、のちに四柱の神を合わせ祀ったという説もあります。神社の西にある教信寺は延暦寺の末寺であることから深いつながりがあります。

加古川市制60周年記念
平成22年6月



常夜燈

野口神社

約三百五十年前の創建といわれているが
一説によれば、その昔、比叡山麓日吉神^え
社より御分霊をお迎えし、のち四柱の神を
併せ祀ったともいわれている。

山王五社宮と呼ばれ権現号を称していた
が、明治の初め野口神社と称するようにな
った。

主な行事

一月十八日・十九日 厄除大祭

七月二十八日 夏祭（湯だて）・大祓祭

十月十五日に近い日曜日 例大祭

加古川市
加古川市観光協会

五社宮 野口神社

由緒略記

藩政は古く中央政権への「文化の通り道」としての役割があり、近代国家建設に貢献した渡来系の人たちが往来しました。仏教伝来の流れの中で寺院が建てられ、古代寺院として奈良時代（8世紀）に野口神社のところに寺院（通称「野口廣寺」）が建立されました。近くには秀吉により天正6年（1578年）に攻め落された野口城がありました。

のち江戸時代 慶安4年（1651年）に社殿が、寛文6年（1666年）に鳥居が建てられ、山王五社宮（五社大明神、五社山神宮寺）として約250年間、社體12代により栄えてきました。

江戸末期には 新山陽（1780～1832年 儒者、歴史家）が立ち寄り、
「近 環 松柏見威嚴之森巖 透面波湧知膏澤之 弥瀧」
（近くに松柏をめぐらした威嚴に満ちた深い森を見、はるか向こうに瀬戸内の波をながめ、人を豊にし幸福をもたらす恵みが一面に広がっていることがわかる）

という詞を詠みました。

神社の前の道は西国街道で、江戸時代参勤交代が行なわれ、伊能忠敬などが通りました。明治になり政府は神道を国教と定め「神仏判然令」（1868年）を出して神と仏を厳然と区別しました。その結果、神社にあった神宮寺はただちに撤去され、社名も五社宮（5つの神を祀るので五社宮という）から野口神社と改称されました。

祭神は比叡山の麓の山王総本宮日吉大社より勧請（分霊をお招き）した大山咋命（通称名日吉大神）を主祭神とし、他に4祭神よりなります。

（祭神）

- ① 大山咋命（日吉大神）・・・家内安全、五穀豊饒、子宝・安産、良縁、商工業繁栄、病氣平癒、学業成就、魔除け、方除け、諸願成就 等
- ② 品陀別命（八幡大神）・・・厄除け、開運、家内安全、学問成就
- ③ 須佐之男命（八坂大神）・・・諸災穢い、病氣平癒、無病息災、商売繁昌
- ④ 速玉男命（熊野大神）・・・国土安穩、農業・商業の繁栄
- ⑤ 天伊佐々比古命（日岡大神）・・・子宝・安産

（御神徳）

（主な年中行事）

- 1月1日・・・歳旦歳
- 1月18・19日・・・厄神祭
- 7月28日・・・夏祭（湯立）・大祓祭
- 10月15日に近い土、日・・・例祭（秋祭）
- 11月・・・七五三詣り
- 11月23日・・・新嘗祭
- 12月31日・・・大祓祭



〒675-0012
加古川市野口町野口326
五社宮 野口神社 社務所
TEL・FAX 079 (422) 4352

当社では、宮参り、交通安全、安産、厄除、合格祈願等の各種ご祈禱、地鎮祭、安全祈願祭、結婚式 等 随時承っております。









石野本堂
中田省吾
上西村 宛
三上田 氏
口大西 殿男

納
国恩祭記念建之

奉
平成八年秋



奉 平成八年秋
野口金田正一

北野新田 伊藤 登

土山 小南重徳

高知 上田 芳

新在家 森田 茂男

坂元 寺木 九幸

新在家 丸山 孝彦





納
御本殿改築記念

奉
平成八年秋建之



納
御本殿改築記念

西谷藤原良康

高畑上田義昭



奉
平成八年秋建之
和 田 上 田 正 信

水 足 中 山 隆 治

和 田 長 澤 達 雄

和 田 長 澤 達 雄

和 田 長 澤 達 雄

和 田 長 澤 達 雄



納

国恩祭記念建之

奉

昭和六十年春

- 三木義一
- 兼田喜代重
- 大西昇三
- 西川 実
- 兼田信一郎
- 奥村勢治
- 石原常一
- 赤坂呉昭
- 黒田三朗
- 二川和良
- 松浦 勲
- 大西敏夫
- 吉田義夫



上田 虎次

上田 嘉孝

六十年春建之

南
西
廿五丁

南
式
何
日
岡
林



岩坂昌英

寺田 大西 薰

寺田 岩坂 稔

大野村

自
治
体
制
の
確
立
を
期
す
に
由
り







福

上田 虎次

高

上田 嘉孝

高 六十一 年 嘉孝 建 八

西 廿五丁



寺田 岩坂昌英

寺田 大西 薰

寺田 岩坂 稔

正

東 大野村在

南 大野村在





東加古川ハイタウン
私有地につき関係者
以外立入禁止
東加古川ハイタウン管理組合



















五輪塔

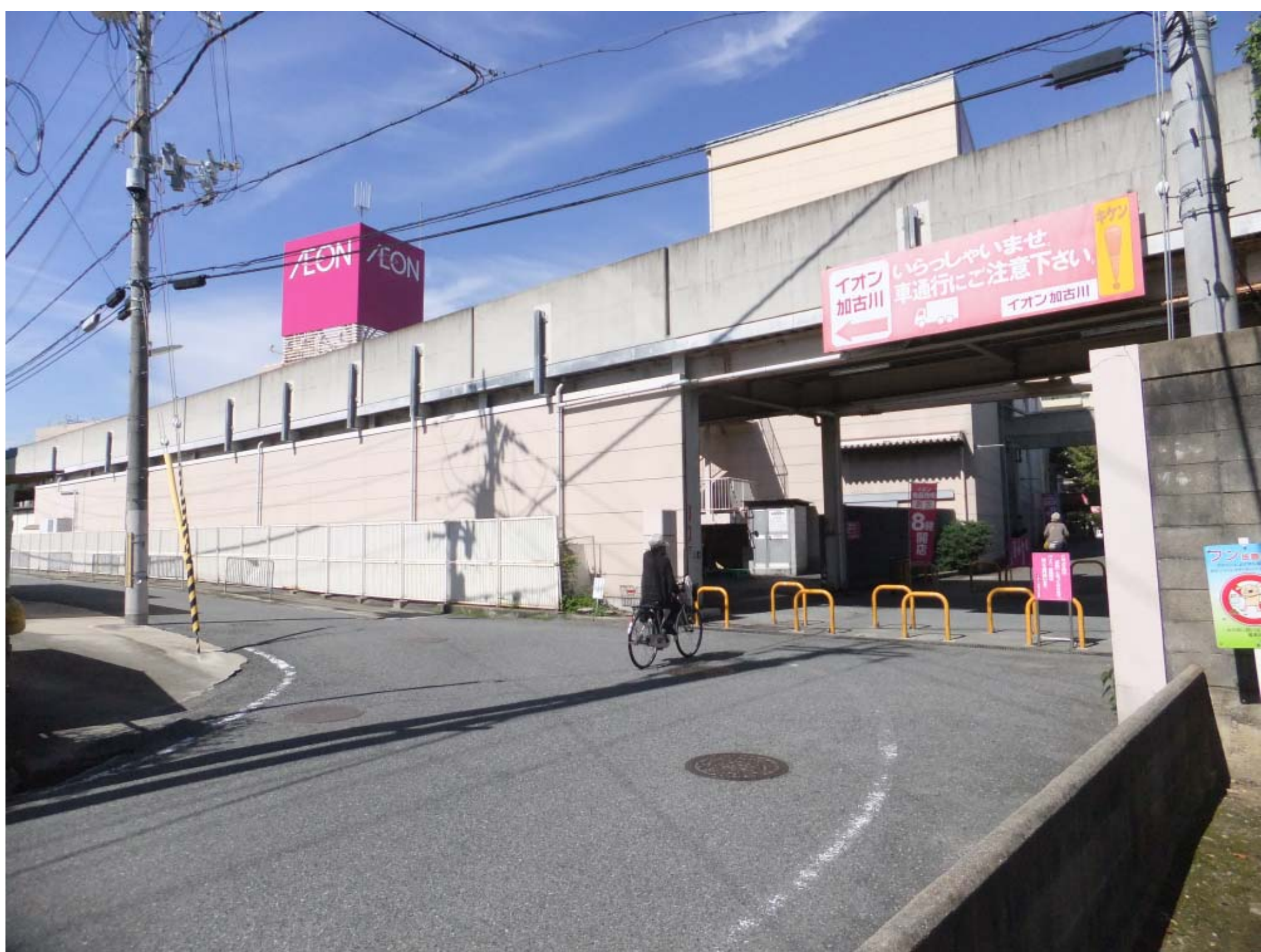
この五輪塔は、凝灰岩(音山石)製で、
無銘のため造立年代はわかりませんが、
室町時代の初期に造られたものと
思われます。

播州名所巡覧図絵には足利左馬
頭義氏の墓というありとあります。

全 高 二二五センチ
水輪の径 八〇センチ

昭和五十八年三月

加古川市文化財保護協会



AEON AEON

イオン 加古川
いらっしやいませ
車通行にご注意下さい
イオン 加古川

8階店

イオン 加古川

フン











在家北
izaike kita

在家北
izaike kita

